

平成23年度 食品検査状況



1 残留農薬

平成23年度は野菜や果実等の農産物129検体（国産品81、輸入品48）について延べ13,140農薬の残留農薬検査を行いました。検査の結果、129検体中66検体（検出率51.2%）から農薬が検出されましたが、食品衛生法に定められている残留基準を超えたものはありませんでした。検出した農薬のほとんどは基準値の1/10から1/100の低い値でしたが、中には複数の農薬が検出されたもの、基準値の1/2以上検出された農薬もあることから、今後も継続して監視する必要があると考えます。

残留農薬検査結果の概要

	国内産		輸入品		全体	
	検体数	検査項目数	検体数	検査項目数	検体数	検査項目数
野菜	34	4080	32	3840	66	7920
果実	21	2520	16	1920	37	4440
玄米	6	720	0	0	6	720
畜肉	20	60	0	0	20	60
合計	81	7380	48	5760	129	13140
農薬検出数	36	-	30	-	66	-
検出率(%)	44.4	-	62.5	-	51.2	-
残留基準超過数	0		0		0	



2 動物用医薬品

平成23年度は輸入魚介類(5検体)、県内産養殖魚(3検体)、はちみつ(4検体)、県内産鶏卵(11検体)、輸入肉(7検体)について検査を実施しましたが、輸入魚介類、県内産養殖魚からヒドロコルチゾンを検出しました。ヒドロコルチゾンは、生体内物質で天然含有の範囲まで残留が認められ、基準違反ではありません。

動物用医薬品検査結果の概要

品名	検体数	検出検体数	検出項目	検出値(ppm)	基準	
輸入魚介類	サーモントラウト	2	2	ヒドロコルチゾン	0.02	食品一般の成分規格8を適用
	うなぎ	1	0			
	むきえび	1	0			
	ほっけ	1	0			
県内産養殖魚	イワナ	2	0			
	コイ	1	1	ヒドロコルチゾン	0.02	食品一般の成分規格8を適用
はちみつ	4	0				
鶏卵	11	0				
牛肉	5	0				
鶏肉	2	0				
合計	30	3				

※ 食品一般の成分規格8:天然含有の範囲まで残留が認められる。
(ヒドロコルチゾン:生体内物質)



3 食品添加物

平成 23 年度は合成保存料 25 検体、酸化防止剤 10 検体、合成着色料 12 検体、甘味料 10 検体について検査を行いました。その結果、食品衛生法で定める使用基準、表示基準に違反した食品はありませんでした。

食品添加物検査結果の概要

種類	検体数	検査項目	検査結果
保存料	25	安息香酸、ソルビン酸、パラオキシ安息香酸エステル類	使用基準及び表示基準違反なし
酸化防止剤	10	tert-ブチルヒドロキノン	
着色料	12	食用赤色2,3,40,102,104,105,106号、、黄色4,5号、緑色3号、青色1,2号	
甘味料	10	サイクラミン酸	
合計	57		



4 遺伝子組換え食品

平成 23 年度は、とうもろこし加工食品（6 検体）を対象に検査を行いました。

その結果、とうもろこし加工食品では未審査組換え体 Bt10 が検出された食品はありませんでした。

遺伝子組換え食品検査結果の概要

品名	検体数	検査項目	結果結果	
			不検出	検出
トウモロコシ缶詰	5	未審査組換え体Bt10定性試験	5	0
トウモロコシクリーム缶詰	1		1	0
合計	6		6	0

5 アレルギー物質

平成 23 年度は、「そば」混入のおそれのある小麦粉食品 13 検体（中華そば等麺類）及び「小麦」混入のおそれがある米粉等食品 5 検体について、キットによるスクリーニング検査及び PCR 法による確認検査を行いました。その結果、スクリーニング検査および確認検査で 18 検体中 1 検体が陽性でしたが、注意喚起表示があり問題はありませんでした。

アレルギー物質検査結果の概要

品名	検体数	そば陽性	小麦陽性	備考
中華そば	5	0	-	
うどん	7	1	-	注意喚起表示あり
じゃじゃ麺	1	0	-	
米粉	2	-	0	
米粉シフォンケーキ	1	-	0	
なんばんみそ	1	-	0	
レトルトカレー	1	-	0	
合計	18			

